

文化芸術との新たな出会い

山梨県障害者文化展へ。

今から26年前、旧岡島百貨店にて「身体障害者福祉展」はスタートしました。来場する大半が関係者だった当時に比べ、現在、名称を変更した「山梨県障害者文化展」には、約2,000人という多くのファンが訪れます。今回は、時代の流れと共に進化を続けてきた、山梨県障害者文化展を主催する、山梨県と主管の山梨県障害者福祉協会のご担当者にご文化展への想いや魅力について伺いました。

山梨県障害者文化展は、県内在住の障害者の絵画、書道、陶芸、工芸、手芸、文芸の他、写真、ぬり絵、折り紙、デジタルアート等のさまざまな文化芸術作品を一堂に集めた展示会です。作品点数も1,000点を超えるようになり、近年では、国中会場と富士・東部会場の2ヶ所で「地域展」が開かれ、専門的知識を持つ審査員の審査により選ばれた作品のみが、後日開催される「総合展」へ展示されるようになりました。「作者の特性が良く現れたもの、特性を全く感じさせないもの、どちらも存在するのがこの文化展の魅力です」そう話すのは、今年この文化展を担当する山梨県障害者福祉協会の森本さん。会場には、感性の赴くままに表現された大胆な作風のものや細やかで繊細なタッチのもの、心にそっと寄り添い語りかけてくるような優しい作風のものなど、訪れる人に感動を与える作品が多く並びます。作者も小学生から高齢者と、年齢も幅広く、身体や知的、精神など、障害の特性もさまざまです。



近年の「山梨県障害者文化展」の様子。



この文化展の魅力は多彩な作品だけではありません。人と地域、福祉と地域が知り合い、触れ合う場でもあるのです。いわゆる一般的な美術館等とは違い、和やかな雰囲気の中で、時に会話をしながら作品に出会えるのは、この文化展ならではの魅力です。来場者と作者が直接出会う場面も決して珍しくありません。また、作品一点一点には、作者の想いが添えられ、どんな状況下の中で表現された作品なのかを垣間見ることもできます。26年という年月を歩み続けてきた山梨県障害者文化展、まだ一度も訪れたことがないという方も、きっと心を打つ素敵な作品に出会えるでしょう。



旧岡島百貨店での展示風景。



山梨県障害者福祉協会：森本麻冬さん

山梨県福祉保健部障害福祉課：横森穂菜美さん

第26回 山梨県障害者文化展

【地域展 富士・東部会場】

日時／11月2日(木)～11月6日(月)
10:00～18:00(最終日は正午まで)

会場／富士急ターミナルビル「Q-STA」
地下1階イベントスペース(富士吉田市上吉田2-5-1)

【総合展】

日時／12月2日(土)～12月6日(水)
10:00～18:00(最終日は14:00まで)

会場／山梨県立図書館1Fイベントスペース(甲府市北口2-8-1)

お問い合わせ

社会福祉法人
山梨県障害者福祉協会
TEL／055-252-0100
FAX／055-251-3344

「こちらもぜひ!!」

第10回 山梨県障害者芸術・文化祭

日時／11月10日(金)、11日(土) 11:00～15:00
10(金)10:00～11:00にオープニングセレモニーを実施予定

会場／甲府駅北口よっちゃばれ広場

アンケートに答えてくれた方には、第10回を記念するノベルティも配布!!お楽しみに!

お問い合わせ

山梨県福祉保健部
障害福祉課
TEL／055-223-1461
FAX／055-223-1485

今月のTOHOシネマズ甲府情報



(C) 2023 TOHO CO.,LTD.



「GODZILLA -1.0」

公開日:2023年11月3日(金) イオンモール甲府昭和2F

監督：山崎貴

出演：神木隆之介、浜辺美波、山田裕貴、青木崇高、吉岡秀隆、安藤サクラ、佐々木蔵之介

[上映時間：125分]

戦後、無(ゼロ)になった日本へ追い打ちをかけるように
現れたゴジラがこの国を負(マイナス)に叩き落す。
史上最も絶望的な状況での襲来に
誰が? そしてどうやって?
日本は立ち向かうのか。

